

平成31年度第1回みえスタディ・チェックの概要

1 目的

- ・児童生徒が自らの学習内容の定着状況を確認し、目標を持って主体的に学習に取り組む意欲を育む。
- ・学習指導要領の趣旨や内容に基づき、児童生徒の学習内容の定着状況を把握し、授業改善及び個に応じた指導の充実等、各学校が組織的かつ継続的なPDCAサイクルを確立し、子どもたちの学ぶ意欲や学力の向上のための取組を促進する。

2 実施日及び対象学年、対象教科、実施校数

実施日	実施基準日：4月18日（木） ※上記実施日を含め、4月12日（金）から5月10日（金）までの期間に実施
対象学年	小学校第4学年・第5学年、中学校第1学年・第2学年
対象教科	国語、算数・数学、理科
実施校数	小学校 第4学年 347校・第5学年 347校 中学校 第1学年 150校・第2学年 151校 ※対象児童生徒が在籍する全ての小中学校等で実施

3 各教科の平均正答率、平均無解答率及び改善状況

*各学年・各教科の問題は、内容や難易度が異なります。

(1) 県平均正答率

教科	小学校		中学校	
	第4学年	第5学年	第1学年	第2学年
国語	66.0%	47.3%	66.5%	60.5%
算数・数学	56.3%	46.5%	57.7%	44.0%
理科	53.7%	52.5%	53.4%	35.6%

(2) 県平均無解答率

教科	小学校		中学校	
	第4学年	第5学年	第1学年	第2学年
国語	4.39%	15.50%	2.59%	3.03%
算数・数学	6.79%	7.90%	2.86%	11.68%
理科	3.36%	5.59%	3.23%	14.01%

(3) 過去に出題された問題（同一・同趣旨問題）の改善状況

① 同一児童生徒の正答状況の比較

校種 教科	学年	問題概要	県平均正答率		改善状況
			今回	過去	
中学校 国語	第1学年	主語と述語のつながりが合うように文を書き直す	33.8%	33.5%	+0.3
中学校 数学	第1学年	答えが $15 \div 0.6$ の式で求められる問題を全て選択する	39.6%	36.9%	+2.7
		小屋のこみぐあい	61.6%	49.4%	+12.2

② 経年的な課題に対応した問題の改善状況

校種 教科	学年	問題概要	県平均正答率		改善状況
			今回	過去	
小学校 国語	第4学年	文の主語を選択する	65.2%	59.8%	+5.4
	第5学年	複文において主語を選択する	40.3%	36.0%	+4.3
		主語と述語のつながりが合うように文を書き直す	38.1%	35.9%	+2.2
中学校 国語	第1学年	主語と述語のつながりが合うように文を書き直す（再掲）	33.8%	33.5%	+0.3
	第2学年	主語を明らかにして文を書く	28.4%	23.0%	+5.4
小学校 算数	第5学年	180°よりも大きい角の大きさを求める	28.9%	24.2%	+4.7
		○は□の何倍かを求める式と答えを求める	50.3%	54.8%	-4.5
中学校 数学	第2学年	90%にあたる値段の文字式を答える	8.3%	3.0%	+5.3
小学校 理科	第5学年	検流計の針の位置を予想し、選択する	27.8%	45.5%	-17.7
中学校 理科	第2学年	蒸散以外で、容器の中の空気中の水蒸気量が増加した要因を記述する	21.5%	18.0%	+3.5

<割合の基礎となる「除法の意味」を問う問題の各学年の正答状況>

校種 教科	学年	問題概要	県平均正答率		改善状況
			今回	過去	
小学校 算数	第4学年	答えが $12 \div 4$ の式で求められる問題を全て選択する	31.3%	-	-
	第5学年	答えが $4.2 \div 6$ の式で求められる問題を全て選択する	37.3%	-	-
中学校 数学	第1学年	答えが $15 \div 0.6$ の式で求められる問題を全て選択する（再掲）	39.6%	36.9%	+2.7

(4) 授業改善に向け着目したい問題の状況

※反応率とは、解答類型ごとの児童生徒の解答割合を示します。

<小学校国語> 第4学年 4二 (話すこと・聞くこと、書くこと)

【問題の概要】話し合いで出た意見を条件に合わせてまとめる。

<じょうけん> ○【話し合いの一部】から、折り紙の良いところを全て取り上げること。

○ア に当てはまるように、30字以上、50字以内で書くこと。

正答と主な誤答例の反応率

正答の条件

- ①以下の内容を両方取り上げて書いている。
 - ・「外国の人と一緒に折ることができる」という内容
 - ・「折ったものをおみやげにすることができる」という内容
- ②「色やもようがきれい」という内容を書いている。
- ③ア の前後につながるように、30字以上、50字以内で書いている。

正 答【解答類型1】条件①、②、③を満たして解答しているもの 反応率：9.7%

主な誤答例【解答類型3】条件①、③は満たしているが、条件②は満たしていないもの

反応率：31.7%

<つまずき>

- ・<じょうけん>に書かれている「全て取り上げて」を読み飛ばしている、あるいは、文章全体を読まずに一部だけを読んで解答してしまっていることが考えられます。

<改善に向けて>

- ・一つの段落など文章の特定の部分にとどまらず、文章全体に何が書かれているのかを大づかみに把握させることが必要です。そのために、文章中の重要な語句や文を考えて選び出し、何がわかったのか、何を考えたのかを述べ、文章全体の内容を把握する活動などを行っていきます。
- ・例えば、学校での出来事の話を書く際に、「友だちはどのように考えていたのかな？」と質問をして、複数の意見をもとに自分の考えを伝える機会を作るなどして、全体を見る力を伸ばすことにつなげていきます。

<中学校国語> 第2学年 2二 (話すこと・聞くこと、書くこと)

【問題の概要】意見を受けて、「複数の登場人物を演じる時には、独特の工夫をします。」を聞き手に分かりやすいように、条件にしたがって書き直す。

条件1 【本の一部】を参考にして、意見にある「どのように工夫をするのか」と「なぜそのような工夫をするのか」が分かるように書くこと。

条件2 「複数の登場人物を演じる時には、」に続けて、80字以上、120字以内で書くこと。

正答と主な誤答例の反応率

正答の条件

- ①【本の一部】を参考にして、「どのように工夫をするのか」が分かるように具体的に書いている。
- ②【本の一部】を参考にして、「なぜそのような工夫をするのか」が分かるように書いている。
- ③「複数の登場人物を演じる時には、」に続けて、80字以上、120字以内で書いている。

正 答【解答類型1】条件①、②、③を満たして解答しているもの 反応率：46.2%

主な誤答例【解答類型3】条件①、③を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの

反応率：27.6%

<つまずき>

- ・「落語」についてのスピーチ原稿を書くにあたり、【本の一部】を参考にして「複数の登場人物を演じる時は、なぜそのような工夫をするのか」について、聞き手が分かるように書くことができていないと考えられます。

<改善に向けて>

- ・目的に応じて、事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように文章の構成や言葉の選び方を工夫して話したり、書いたりできるような活動を取り入れていきます。
- ・単語で会話しているような場面では、相手に自分の思いや考えを正確に伝えられるために、文で会話することを意識づけることが大切です。

＜小学校算数＞ 第4学年 ①（2）（数と計算、数量関係）

【問題の概要】 $12 \div 4$ で求められる問題をすべて選ぶ

選択肢

- 1 12まいのクッキーを同じ数ずつ4人に分けます。クッキーは1人分何まいになりますか。
- 2 クッキーが12枚あります。何まいか食べたら残りは4まいになりました。食べたクッキーは、何まいですか。
- 3 12まいのクッキーを4まいずつふくろにつめます。クッキーを全部つめるには、ふくろはいくつありますか。
- 4 12人の子どもにクッキーを4まいずつ分けます。クッキーは全部で何枚ありますか。

正答と主な誤答例の反応率

正 答【解答類型1】	選択肢1、3を選択	反応率：31.3%
主な誤答例【解答類型2、3、4】	複数解答の中に選択肢4を含めている	反応率：20.4%
	【解答類型3】複数解答の中に選択肢3を含めていない	反応率：9.3%

＜つまずき＞

- ・ 選択肢4を解答に含めた児童が約20%います。「4まいずつ分ける」という表現が文章に含まれていることから、わり算の式になると判断したと考えられます。
- ・ 選択肢3を解答に含めていない児童が10%近くいます。「4まいずつふくろにつめる」という表現が文章に含まれていることから、かけ算の式になると判断したと考えられます。

＜改善に向けて＞

- ・ 問題場面を絵や図、言葉で示し、数量の関係を正しく捉えて式で表す学習活動を設定していきます。
- ・ 「○人に分ける」「○つずつ分ける」という生活場面で、例えば皿に同じ数ずつ分けたり、お菓子を一人分ずつ集めたりしながら、実際の場面を想像させて、わり算の式とつなげて考えさせることが大切です。

＜中学校数学＞ 第1学年 ①（4）（数と計算）

【問題の概要】 答えが $15 \div 0.6$ の式で求められる問題をすべて選ぶ

選択肢

- ア 15mのひもを0.6mずつ切っています。0.6mのひもは何本できますか。
- イ 0.6kgのコーヒー豆が入っている袋が15袋あります。コーヒー豆は全部で何kgありますか。
- ウ 1Lで板を15m²ぬることができるペンキがあります。このペンキ0.6Lでは、板を何m²ぬることができますか。
- エ 0.6Lのガソリンで15km走る自動車があります。この自動車は、ガソリン1Lでは何km走りますか。

正答と主な誤答例の反応率

正 答【解答類型1】	ア、エと解答しているもの	反応率：39.6%
主な誤答例【解答類型3、4】	複数解答の中にウを含めて解答しているもの	反応率：35.7%

＜つまずき＞

- ・ 選択肢ウを含めて解答している生徒が35%以上います。計算の結果がもとの数よりも小さくなる場合に、除法を用いると捉えていると考えられます。また、基準量と比較量、割合の関係を正しく捉えられていないことが考えられます。

＜改善に向けて＞

- ・ 問題文をきちんと読み取り、状況を正しく把握する場面を設定したり、絵や図、言葉、式を対応させて、演算決定の場面を設定したりしていきます。
- ・ 日常生活の中でも、1mで150円の布の0.6m分の代金や3個セットで売られているものの1つ分の値段など、何倍になっているかを考えたり、1に当たる大きさは何なのかを考えたりすることが大切です。

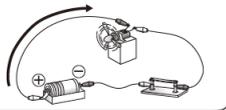
<小学校理科> 第5学年 2 (2) (エネルギー)

【問題の概要】 予想された検流計の針の位置を選ぶ

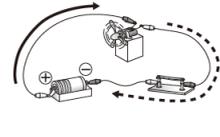
まさきさんたちは、図1の回路を流れる電流の向きや強さについて、予想したことを話し合いました。



電流は、かん電池の+極から、モーターまで流れていって、そのあとは、流れなくなるんじゃないかな。



電流は、かん電池の+極からモーターを通過して-極へ流れていると思うよ。モーターからもどってくるよ。電流の強さは弱くなっていると思うよ。



正答と主な誤答例の反応率

正 答【解答類型3】 検流計①と同方向で針の目盛りの値が小さい	反応率：27.8%
主な誤答例【解答類型1】 検流計①と同方向で目盛りの値も同じ	反応率：37.3%

<つまずき>

- 問題文の「みはるさんの予想が正しければ」という条件を読み飛ばしたことにより、「電流の向きや強さはモーターの左右で変わらない」という、これまでの学習で学んだ知識を基に解答したと考えられます。

<改善に向けて>

- 問題文をきちんと読み取るとともに、実験の前に一人一人が自分の考えをもって話し合う場面を設定したり、自分の考えと異なる予想について、その予想が正しければどのような結果になるかを把握したりして、実験を行うようにしていきます。
- 光電池への日光の当たり方について太陽の動きを予想して光電池の向きを考えるなどの場面を捉え、結果の見通しを持つことなど、日常生活の中でも機会を捉えて予想に対して「その予想が正しければこうなるだろう」と考える場面を設定することが大切です。

<中学校理科> 第1学年 4 (2) (生命)

【問題の概要】 条件制御の知識・技能を活用して実験を改善し、その理由を記述する

<p>A</p> <p>インゲンマメの種子 日光 ・気温20°C。 ・だっし綿を水でしめらせる。</p>	<p>B</p> <p>日光 ・気温20°C。 ・だっし綿をかわいたままにする。</p>
<p>C</p> <p>水 日光 ・気温20°C。 ・インゲンマメの種子が水に完全にひたるようにする。</p>	<p>D</p> <p>冷蔵庫 ・中の温度が5°C。 ・日光の当たらない冷蔵庫に入れる。 ・だっし綿を水でしめらせる。</p>

(2) 真子さんは、【考察】の下線部の内容に関して、【実験】を見直しました。次の に入る適切な内容を、「適当な温度」「日光」という2つの言葉を使って書きなさい。

AとDでは、 ので、AとDを比べても、「適当な温度」が発芽に必要な条件かどうかを調べることができないことに気づきました。



正答の反応率

正 答【解答類型1】 日光の条件も変わっていることを記述しているもの	反応率：37.0%
------------------------------------	-----------

<つまずき>

- 発芽に影響を与えると考えられる要因について、制御すべき要因と制御しない要因を区別できていないと考えられます。比較する2つの実験の図には光、水、温度の条件が記されていますが、それらのうち、調べる対象である温度が制御しない要因、それ以外のすべて（光を含む）を制御すべき要因として判断できなかったと考えられます。

<改善に向けて>

- 正確に予想や仮説の検証をしたり、結果の原因を特定したりすることができるよう、結果に影響を与える要因を特定できる観察、実験の方法を考える場面を設定するようにしていきます。
- 身の回りで日光がよく当たる場所と、あまり当たらない場所の植物では、成長にどのような違いがあるのかを観察したり、その成長の違いには何が影響しているのかを、様々な要因をもとに考えたりすることが大切です。